

第 3 8 1 回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2021 年 9 月 27 日（月）
- 2 開催場所 テレビ新潟本社
- 3 委員総数 8 人 出席委員 8 人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
徳山隆太郎	委員	富田 智晃	委員
大久保千春	委員	柳川かおり	委員
本宮 宏美	委員	迫 一成	委員

会社側出席者

代表取締役社長	小山 章司
取締役コンテンツ本部長	寺内 邦彦
コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長	羽田 朗
報道制作局長	竹野 和治
制作部長	須山 司
合評番組プロデューサー	伊藤 正鋭
事務局	道場拓哉 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「24時間テレビ44

にいがたスペシャル『その先のミライへ』

(2021年8月22日(日) 11:24～12:24 放送)

2) 会社報告

①7月、8月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、議事概要の公表 (報告：番組審議会事務局)

③訂正放送、取り消し放送の有無 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「今年の24時間テレビのテーマ『思い～世界は、きっと変わる。』に沿って、『何か継続性のある思い』を持ち、新潟県内で活動する方々を紹介する番組を制作した。収束が見えない新型コロナウイルスだけでなく、震災からの復興、フードロスや後継者不足など、現在の世の中で目を背けることができない問題に対して本物の思いを持って活動する人々を描いた。取材対象として、これまで『夕方ワイド新潟一番』で一度取り上げたことのある方々の中から『思いを持って継続的に動いている』ということに加えて、人間味や魅力があり、人をつなぐ身近な存在としてより多くの方に知ってほしいという点を重視して4組を選定。また、単純に思いや活動を紹介するだけでなく、見終えた後に『希望』を感じることができるように構成し、『その先のミライへ』というタイトルにした。

(委員の意見)

- 取材対象者それぞれがとても穏やかではあるが、強い熱量を持っているということが伝わってきた。様々な年齢層の方がいてバランスも良かった。
- ナレーションを担当したアナウンサーがワイドの中にも出てきて、VTRを初めて見るような反応をしていたことが気になった。
- 4人が心から魅力的な言葉を発していて、行動が想いと一致しているところに嘘がなく説得力があった。
- パン屋さんの母親が語っていた「なにもないことがいい」というコメントがこの番組の答えだったのではないか。その中で自分たちがどう輝いて生きていくのかと教えられた気がした。
- 番組に時折、自然の風景が入っていたことで、全体的に優しい印象になっていた。じっくり見るというより、さらさらと心地よい番組だった。
- 4人とも知らない方だったが、好きなことを仕事にしていることが興味深く、憧れる部分もあった。自分のやりたいことを見つけていくライフスタイルが素敵だと思うと同時に、いま自分がやっている仕事の中で少し頑張ってみようという気分させてくれるような番組だった。
- タイトルは「未来へつないでいく」という意図でつけられたと思うが、どちらかというと「今のたくさんの人とのつながり」を強く感じられた。
- 過去の「24時間テレビ」のローカル部分では、イベントにタレントが来て賑やかしのようなものが多く残念な気持ちがしていた。T e N Yが心を込めて届けてくれるものを見たいという視聴者に応えてくれる内容だった。

- 県外から来た人が地域の魅力を再発見して伝えるという例が多く、以前から住んでいる人たちが自分の目で魅力を見つけることができたらいいなと思った。
- ウコン作りを師匠から引き継いだ二人が、心が折れそうなときに思い出す「ウコンを始めてからいろいろな人に出会って、いろいろなことが起きて、人生は長く楽しくなった」という師匠の言葉が印象的だった。二人の成長をこれからも続編として伝えてほしい。また師匠の人生も知ってみたい。
- 「24時間テレビ」は強制的に感動させられるイメージがあったが、この番組には好感が持てた。
- 自然栽培について、理屈っぽくなく自然に伝わってきた。最後に家族が出てきた部分で、未来についての質問があっても良かった。
- 番組を見るまでは取材された4人のことは知らなかったが、SNSやインターネットを見るとすべて情報として載っていることに衝撃を受けた。テレビの役割は情報を伝えるだけではなく、丁寧な取材や人と人との関係を映し出すこと、構成力、映像美などが私たちにとってニーズがあるところなので、そこは大切にしていって、これからも良い出会いを見せてほしい。
- 新型コロナの影響で東京などの大都市は維持可能なのか、ということに対してこの番組は強力なアンチテーゼを唱えているのではないかと感じた。このままではいけない、世界観を変えていかなければという想いを、無理なく押しつけずしなやかに、しかし強く表現していると感じた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

7月……224件

8月……201件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2021年7月26日)から、
昨日(2021年9月26日)まで総務省に届け出た
訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第380回審議会では、

「夕方ワイド新潟一番 One Day ある日あるヒト」を
審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッ
フ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第381回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に 議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) T e N Y ホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第380回番組審議会議事録
- ・7月、8月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(No. 228、No. 229)・民間放送新聞(2185号、2186号)

以上